

敦賀港から豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が出港しました！ ～ 人道の港クルーズ ～

平成25年6月25日(火)、敦賀港のフェリーターミナルから、日本クルーズ客船(株)が運航する豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が、乗客約320人を乗せて北海道へ出港しました。

客船前で行われた出港式では、冒頭に河瀬一治 敦賀市長から「敦賀港は歴史のある港であり、ユダヤ人難民約6千人が上陸した人道の港でもあります。」「本当に楽しい心に残るいい船出になりますことを、心からお祈り申し上げます。」と乗客に向け挨拶があり、続いて恒川郁雄 船長と乗船客代表に花束を贈呈した後、恒川郁雄 船長から挨拶がありました。最後に、敦賀市のNPO法人「ジェリービーンズ」の子供たちが乗客に向けダンスを披露し出港を祝いました。

その後、船上から色とりどりの紙テープが投げられ、見送り隊※が岸壁から手を振ってお見送りをする中、北海道の利尻島へ向け出港していきました。

本クルーズは、利尻島、礼文島を旅する6日間のクルーズであり、30日に敦賀港に帰港し、その後、船内見学会が開催される予定となっています。

また、同客船は今年8月にも人道の港クルーズとして、東北二大祭りクルーズが予定されています。

※見送り隊とは、クルーズ客船誘致などで街の活性化を目指し今年3月に設立した「敦賀みなと振興会」（敦賀市、福井県、港湾関係企業など11団体）が、出港を見送り、もてなしの心を示すことで、継続した寄港につなげようと企画し、市民に参加を呼びかけたもの。当日は104人が訪れ出港を見守った。また、見送り隊には、30日の船内見学会に参加する資格が与えられる。



フェリーターミナルと客船「ぱしふいっくびいなす」



河瀬一治 敦賀市長の挨拶



乗客に子供たちによるダンスを披露



紙テープが投げ込まれる中、手を振ってお見送り